

いきいき! プラチナナース

第2回

社会福祉法人成仁会
特別養護老人ホーム成仁ハウス百年の里
副施設長兼看護師長 東 美也子さん

<基本情報>

施設名：特別養護老人ホーム成仁ハウス百年の里
(105床)

看護職員総数：20人（うちプラチナナース7人 ※
50代後半を入れると9人、パートも含む場合は60
代1人）

雇用実績：定年後の継続雇用7人（70代を含めると
8人）／プラチナナースとしての新規採用1人）

雇用の上限年齢：なし

個々の希望に合った働き方や 勤務場所を選べるよう配慮

岩手県大船渡市を中心に、高齢者向けの介護事業を展開する社会福祉法人成仁会。成仁会の規定では60歳が定年ですが、希望すれば65歳まで定年を延長できます。

しかし65歳で必ずしも退職ではありません。希望すれば、65歳以上でも今までと同じように働くことができ、給料もそのまま維持されます。ですから30年、40年と勤める方が多く、中には70代で活躍されている方もいます。プラチナ世代になってから成仁会に就職する方もいますよ。

成仁会には複数の施設や事業所があるので、いろいろな働き方が可能です。施設間で看護師



の異動もありますし、看護師の免許を持ちながら、さらにケアマネジャーの資格を取得し相談員として働いている方もいます。プラチナ世代の方は、年金の受給に支障のない範囲で働きたいという方も多いため、長く勤められるよう本人の希望に合った働き方と勤務場所を選べる体制を取っています。

介護施設は臨床経験と人生経験を 存分に発揮できる場所

「成仁ハウス百年の里」は特別養護老人ホームなので、人員配置の基準でいえば看護師が4人いれば十分ですが、常に6、7人の看護師を配置し、ケアワーカーのサポートをしています。看護師が少ないと、ケアワーカーが利用者さんの様子に違和感を覚えても十分に対応できないことがあるんです。異常への早期対応のためにも看護師の存在は大きいと感じています。法人の方針として「根拠ある介護、科学的な介護」を目指しています。さらに生活の場であり、常に相手を見ているからこそその「いつもと違う」という直感が相まってケアの底上げになっていると思います。プラチナナースは経験が豊富なため、利用者さんも話しやすいようです。話すことで安心感を与えられるのは、年齢を重ねたプラチナナースならではの強みだと思います。また利用者さんと会話する中で、ちょっとした異常を発見することも珍しくありません。

若い看護師たちにとっても、プラチナナース

は頼りになる存在だと思います。自分の判断が正しいのか相談できますし、一緒に働くことで自分の将来像をイメージすることもできます。年齢で衰えてしまう部分はどうしても出てきますが、みんなカバーし合ってミス無くすようにしています。特養は医師が常駐していない施設がほとんどです。看護師の観察が医師の目となるので、私たちはプラチナナースの経験を重視しています。また、後輩の若い看護師を育成してくれる人材としても必要です。

生き方、ラストステージのありよう、尊厳を守るとはどのようなことなのか等、利用者さんから教えていただいていると感じます。法人理事長からは「ここは人生道場」だとしてよく言われます。プラチナ世代になって身に染みる言葉です。利用者さん、そして私たち職員もお互いの尊厳を守り、支え合いながら、プラチナナースとして、自分らしく生きがいを持って働ける職場だと思っています。

プラチナナース活躍促進 サポートBOOK

さまざまな形でプラチナナースが活躍している事例紹介のほか、安心して働ける職場づくりのポイントや、自身の健康状態や経済的ニーズに応じた働き方の選択に役立つ情報を紹介しています。

本会 HP から、ぜひ、ご覧ください。

